



豊里

ゲートボールで熱戦、再会誓う

「第18回ガンバル杯北上水系豊里町ゲートボール大会」(豊里町ゲートボール協会主催)は10月13日、豊里運動公園で開かれ、参加者はさわやかな汗を流しました。大会は、市内外から34チーム、170人が参加し、7つのリーグに分かれ勝敗を競いました。熱戦の結果、得失点差で志波姫クラブが総合優勝しました。選手たちは互いの健闘をたたえ、来年の大会での再会を誓い合いました。

美田への開墾80周年を祝う

「千貫開墾80周年記念式典」は11月6日、千貫集会所で開かれ、地域住民など約100人が開墾から80年の節目を祝いました。千貫地区は1935年、和歌山県出身の衆議院議員、松山常次郎氏を中心となり富山県入善町などから入植者を受け入れ、開墾が始まりました。式典は80周年を迎えたことと記念誌「千貫のあゆみ」現代版の完成に合わせ開かれ、出席者は先人の苦勞に思いをはせました。



米山



石越

安全安心なまちを目指し学ぶ

「全国地域安全運動石越地区大会」(石越地区防犯協会主催)は10月16日、石越総合支所で開かれ、防犯協会会員、防犯指導隊員、婦人会会員や石越地区住民ら約30人が参加し、防犯意識を高めました。同大会は、防犯診断訓練や防犯に関する講話を実施。防犯診断訓練は、佐沼警察署長根駐在所長が講師となり、家庭で屋外に置いている物が犯罪に利用されることなどを説明。参加者は、一層の防犯意識と知識の向上を図りました。

8行政区が運動で交流深める

「ふれあいスポーツまつり」(東郷地区コミュニティ推進協議会主催)は10月23日、東郷運動広場で開かれ、約300人が参加し、秋晴れの下、さわやかな汗を流しました。スポーツまつりは、8行政区が買い物リレーや乳幼児駆けっこなど6種目で競い、参加者は交流を深めながら、楽しいひとときを過ごしました。また、地場産品などを景品にした抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。



南方



津山

祭り多彩なイベントを開催

「もくもくランド秋まつり」(もくもくランド秋まつり実行委員会主催)は10月23日、道の駅「津山」もくもくランドで開かれ、市内外から3千人以上が訪れ、にぎわいました。祭りでは、特産品の販売、歌謡ショーやよさこい踊りなどさまざまなイベントが開催されました。また、来場者が参加する缶つり大会やもちまき大会、豪華景品当たるお楽しみ抽選会も行われ、会場内は大いに盛り上がりました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

シルバーの日にボランティア

登米市シルバー人材センター(高橋兵衛理事長)のボランティア作業は10月15日、長沼フットピア公園内で行われ、同センター会員150人が参加し、奉仕作業で汗を流しました。ボランティア作業は、全国シルバー人材センター事業協会が定めた「シルバーの日」に実施。会員は熟練の手さばきで、公園内のゴミ清掃、機械除草、植木の刈り込みなどで、地域に恩返しをしました。

児童が稲刈り体験で悪戦苦闘

登米小の5年生31人(萩田隆児校長。児童211人)は10月18日、登米公民館脇の学習田で稲刈り体験をしました。稲刈りは、地元農家の指導を受けながら、6丁を一株ずつ鎌で刈りました。児童たちは、なかなか稲を束ねられないなど、慣れない作業に悪戦苦闘。刈り取った稲は、ほんのりに掛けて乾燥しました。収穫した米は、児童たちで食べたり、お世話になった人たちに配ったりする予定です。



登米



東和

大勢の人でにぎわった秋祭り

「東和の秋まつり」は10月29日、東和総合支所特設会場で開かれ、2千人以上の来場者が訪れ、にぎわいました。祭りは、町内小中学校吹奏楽部の合奏、東和文化協会の発表、六華亭遊花さんの落語や米山愛子さんの歌謡ショーなどが催されました。また、東和中が起業学習の一環で出店し、生徒が作ったお菓子や観葉植物などを販売しました。大勢の人たちが訪れ、あっという間に完売しました。

東京中田会員らが交流ツアー

「平成28年度都市農村交流ツアー」(中田町都市農村交流促進協議会主催)は10月21～23日の3日間、登米市内を中心に開かれ、東京中田会会員、葛飾区中之橋町会員ら20人が参加しました。交流ツアーは、リンゴ狩りやそば打ちを体験したり、登米の森舞台や登米アートトリエンナーレなどを見学したりしました。そば打ち体験では、自分たちで作った打ち立てのそばを食べ、「この味は格別」と笑顔で話していました。



中田